日本早稻田大学语学教育研究所编

留学生用
精读现代日语

北 京 出 版 社

日本早稻田大学语学教育研究所编

留学生用精读现代日语

程长善　潘寿君 等注释

北 京 出 版 社

外国学生用

日本語教科書

上　級

早稲田大学語学研究所編

留学生用精读现代日语

Liuxuesheng Yong Jingdu Xiandai Riyu

日本早稻田大学语学教育研究所编

程长善　潘寿君　等注释

*

北 京 出 版 社 出 版

（北京崇文门外东兴隆街51号）

新华书店北京发行所发行

北京第二新华印刷厂印刷

*

850×1168 毫米　32 开本　8 印张 152,000 字

1985 年11 月第 1 版　1985 年 11 月第 1 次印刷

印数 1— 22,500

书号：7071·1045　　定价：1.60 元

前　言

学过基础日语，特别是学过广播日语的读者，很需要一本继续进修的教材。为满足这部分读者的需要，我们编了这本《留学生用精读现代日语》。本书原是日本早稻田大学语学教育研究所为外国留学生选编的高级日语教材，原名「外国学生用　日本語教科書　上級」，分第一部、第二部，共二十八课。所选的文章，都出自日本的名家之手。

为便于阅读，我们合编成一册，在课文的汉字上注了注音假名，难于理解的地方，加了注解，并在书后附了注释索引。

本书可供有相当日语基础的读者进修使用，也可供国内大专院校日语专业作为高年级教材。

参加本书注释工作的有程长善、潘寿君、胡国伟、张麟声、李抗美等，全书由张生林校订。由于水平所限，可能有注解不当之处，恳请读者批评指正。

编　者

一九八五年六月

目　录

1.　日本語の歴史 …… 1
2.　普通体と丁寧体 …… 8
3.　人を表すことば ……15
4.　海の幸，山の幸 ……23
5.　師走の市 ……30
6.　障子 ……35
7.　日本の近代化 ……45
8.　日本のタテ社会の特徴 ……54
9.　新幹線とローカル線 ……62
10.　新宿というところ ……69
11.　印鑑 ……76
12.　熱気球イカロス5号 ……84
13.　「虫の声」が美しい ……93
14.　笑いについて …… 104
15.　漢字の訓 …… 112
16.　「ウオ」と「サカナ」…… 119
17.　敬語の誤り—雨がお降りになる …… 126
18.　世界に冠たる家賃・食費 …… 133
19.　道具再見 …… 141
20.　一枚の葉 …… 148
21.　義理の発生とその条件 …… 158
22.　他人と遠慮 …… 166
23.　俳句の音 …… 174
24.　森鷗外論 …… 180
25.　九月の空 …… 189

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

26．歌舞伎の「花道」…… 198
27．漫画と科学 …… 206
28．「である」ことと「する」こと …… 213
附録
注釋索引 …… 222

1. 日本語の歴史

われわれは，日本語の歴史につき①，どのような特徴を見ることができるであろうか。そのごく主要な点についてまとめてみると，次のとおりである。

その第一は，上方語② 中心から東国語③ 中心へと推移していることである。日本語の歴史は，大和朝廷④の成立・発展とともにあり⑤，したがって，はじめは大和を中心とする⑥言語が標準語的地位を持つことになった⑦。それが平安時代⑧になって，京都を中心とする言語が標準語的地位を占めることになり，長くその地位を保つに至った⑨。ところが，江戸時代⑩に至って，徳川氏が江戸幕府⑪を開くに及んで⑫，東国語を基盤とする江戸語の成立を見るに至り，京都語と並んで⑬江戸語もしだいに全国に通用する言語となっていった。それが，明治維新を境にして東京に首府が移され，中央集権の制度の確立とともに，江戸語の後身たる⑭東京語を基盤とする言語が標準語的地位を得ることになり，永らく標準語的地位を保っていた京都語にとって代わることになったのである。

その二は，階級による⑮言語の位相差の消長⑯と

いうことである。貴族階級の言語から武士階級の言語を経て平民階級の言語に至るまで，奈良⑰・平安・鎌倉⑱・室町⑲・江戸の各時代によって，それぞれの階級の言語の台頭が見られ，時代の降る⑳とともに，各階級の言語がしだいに分化し，複雑な位相差が見られるようになった。そして，時代が降るとともに，各階級の言語の間の影響も大きくなり，それぞれ変化を見ることになった。明治㉑になって，いちおう，階級差がなくなることになり，義務教育の徹底とともに，標準語の普及もしだいに進み，階級による言語の位相差は少なくなっていった。

その三は，外来語の輸入による日本語への影響ということである。特に日本語の歴史に大きな影響を与えたのは漢字・漢語である。中国語の文字・言語である漢字・漢語は，わが国に輸入されることによって，中国語とは根本的に性格の異なる日本語の，文字・音韻・語彙・造語力・語法の各面に大きな影響を与えることになった。日本語の言語要素の変遷の多くの部分が，漢字・漢語と深く関係していると言える。西洋の諸国語から影響を受けるようになったのは，ずっと時代が降るが，幕末㉒・明治以後は，特に英語を中心とする欧米語から影響を受けた面が多い。

その四は，文字の問題である。これは，前記の漢字・漢語からの影響の問題と密接に関連する。すなわち，

日本語には固有の文字がなかったのであるが，中国語の文字である漢字を取り入れて日本語の文字とした。漢字からやがて仮名（平仮名・片仮名）を生み出したが，仮名を造り出したことによって，わが国語も独特の文字を持つことになったのであり，日本人の言語生活は，大いに面目を新たにすることになった。

その五は，話しことばと書きことばの分離の問題である。漢字を日本語の文字として使うようになり，また，漢字から仮名が案出されるようになって，日本人の間に文字が広く用いられるようになると，書きことばとして固定したものがしだいにできあがるようになり，時代とともに変化していく話しことばとは別の言語体系をなすようになる。平安時代から鎌倉・室町へかけて㉓，書きことばは，話しことばからしだいに分離していった。ところで，明治になって，言文一致㉔の運動が起こされ，話しことばと書きことばとをなるべく近づけようという機運が高まり，今日ではふたたび，両者はしだいに近づけられようとしている㉕。

その六は，男女による言語の差異の問題である。これは，階級による言語の位相差の消長と，ある程度並行している問題である。奈良・平安から鎌倉・室町を経て江戸時代に至るまで，女性語は，しだいに男性語とは別の言語体系をなすような独自の変遷・発達をとげている面がある。これも，明治以後，今日では，ふたたび

男女による言語の差異はしだいに少なくなっていく傾向にある㉖。女性語は，敬語の使用の面で，特に独自の傾向を示すが，その点，女性語の問題は，敬語法の推移の問題と関連するところが多いものと認められる。

その七は，方言の問題である。すでに，奈良時代において，東国語は，大和地方の言語とかなり異なった独自の性格を示しているが，平安・鎌倉・室町と㉗，時代が降るとともに，方言差が増大していったことが考えられる。特に，江戸時代になって，封建制度の下に地方分権の世になって，各地の方言はひじょうに細かく分かれ，また，それぞれ独自の発達をとげていった。これも，明治になって，中央集権の世となり，義務教育の下で標準語教育が推進されるようになって，各地の方言も，その特色をしだいに失いつつある㉘現状である。

松村明「日本語の歴史」（土井忠生編「日本語の歴史」至文堂）から。

まつむら　あきら（1916年～　）元東京大学教授。国語学。

注　釋

① …につき　和「～について」一样，是一个常用的惯用型。意为"关于…""就…"等。

② 上方語　「上方」原指京都及其附近地区，后来也包括大阪。「上方語」是指这一地区使用的语言。

③ 東国語　「東国」指现在的关东地区。「東国語」是指这一地区使用的语言。

④ 大和朝廷　指古代在大和地区（现在的奈良县）建立的朝廷。据说建于四、五世纪。

⑤ …とともにあり　由「…とともに」这个惯用型＋动词「ある」的连用形「あり」组成。「…とともに」意为"和…一起""与…同时"等。「日本語の歴史は，大和朝廷の成立・発展とともりあり，…」意思是：日本的历史，与大和朝廷的建立和发展同时并存，…。

⑥ …を…とする　惯用型。相当于汉语的"以…为…""把…当做…"。例如：「田中先生を団長とする関東地方教職員訪中団が十月十二日に中国を訪問した。」（以田中先生为团长的关东地区教职员访华团于十月十二日访问了中国。）

⑦ …ことになった　惯用型"…ことになる"前接动词连体形。表示与说话者主观意愿无关的某种决定，或由于历史、社会等原因而形成的某种状态。根据前后文意可译成"必将""将会""就等于""其结果""决定"等。有时也可不译出。

⑧ 平安时代　指从七九四年至一一八五年的大约四百年间。平安时代建都于平安京（现在的京都），当时由贵族掌权。

⑨ …に至った　惯用型「…に至る」指某种动作或事物达到了某种状态。翻译时可灵活掌握，有时也可不译出。

⑩ 江戸時代　指一六〇三年至一八六七年，德川家康在江户（现在的东京）建立幕府，并作为征夷大将军统治日本的时代，也称为"德川时代"。

⑪ 江戸幕府　指德川家康在江户（现在的东京）建立的幕府。「幕府」原指出征中将军的军营，后转为武家政治的行政官厅。

⑫ …に及んで　此惯用型的原形为「…に及ぶ」表示"达到…""涉及…"等意思。有时也可根据情况灵活翻译。「及んで」由「及ぶ」的连用形「及ん」加接续助词「で」组成。

⑬ …と並んで　由格助词「と」＋动词「並ぶ」的连用形（拨音便）＋接续助词「て」组成。意为"和…相并列""和…一起"等。

⑭ たる　文语助动词「たり」的连体形，相当于「である」。可译为"作

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

为…"等。

⑮ …による　惯用型。意为"由于…的""通过…"等。例如：「出身による差別はない。」（没有因出身而受歧视。）「…による」后接体言。

⑯ 位相差の消長　「位相差」指因不同的地域、阶层、年龄等所造成的语言上的差别。「消长」是"盛衰"的意思。「階級による言語の位相差の消長」的意思是：由阶层的不同而造成的语言差别的变化（盛衰史）。

⑰ 奈良　此处指奈良时代，从七一〇年至七八四年的大约七十年间。当时建都于奈良。

⑱ 鎌倉　此处指鎌仓时代。鎌仓是位于神奈川县东南部的一个市。一一八五年，源赖朝在鎌仓建立了幕府，历时约一百五十年。

⑲ 室町　此处指室町时代。室町时代从一三三八年足利尊在京都建立幕府起，至一五七三年止，历时二百三十多年。

⑳ 時代の降る　这里的「の」代替格助词「が」，表示下面的动作、状态的主语。此处可译为"时代的推移"。

㉑ 明治　指明治时代，即明治天皇摄政的四十五年间（从一八六八年至一九一二年）。在这期间，立宪政治取代了武家政治，大量吸收西方文化，资本主义迅速发展。

㉒ 幕末　江户幕府的末期。

㉓ …から…へかけて　惯用型。意为"从…到…"。例如：「私は小学校から大学へかけていろいろな知識を身につけた。」（我从小学到大学，掌握了许多知识。）

㉔ 言文一致　「言文」指说话时使用的口语和写文章时所使用的文语。「言文一致」是指在写文章时尽可能用接近于口头语言的形式书写。一八八〇年（明治十三年）以后，日本受欧美的影响，提倡"言文一致运动"。一九〇四年开始使用口语体的小学教材。大正中期后，完全用口语体出版报纸。至此，口语体文章被广泛使用。

㉕ 近づけられようとしている　「近づけられる」是「近づける」的被动式，由该动词的未然形后续被动助动词「られる」构成。「…よう(う)としている」是个惯用型，前接动词推量形，意为"将要…""正要…"。

㉖ 傾向にある　「ある」这个动词在这里有"处在""处于"的意思。此处可译为"处在…倾向之中"或"有…倾向"。

㉗ と　格助词。在这里表示动作、作用的作法或状态。一般接在名词、

数词、副词等的下面。译时可灵活掌握。例如：「汽車は天津，德州，徐州と走っていきました。」（火车驶过了天津、德州、徐州。）

㉘ つつある　　惯用型。前接动词、部分助动词的连用形下，表示某一动作正在进行。例如：「この国の経済は発展しつつある。」（这个国家的经济正处在发展之中。）

2. 普通体と丁寧体①

日本語の文体の別で②重要なのは，文語体と口語体③の区別ではない。この区別は，ほかの多くの言語にもあるし，文語体の使われる場面はごくかぎられている。日本語における文体の別で，非常に珍しく，しかも日本人が毎日，昼となく夜となく④，その両方の使い分けに頭を労している文体の別は，〈普通体〉と〈丁寧体〉の別である。雑誌『言語生活』に載った「外国人は日本語をどうみているか」という座談会で，在日イギリス人のフランクリー氏は，こんな発言をしている。

フ　英国人に日本語を教えているときに「お前たちは完全な日本語を覚えるには三つの言語を覚えなければならない」という具合に⑤話をするんです。

○　三つというのは？

フ　「ある」「あります」「ございます」。

日本人はこの区別に慣れてなんとも思わないが，外国人はこの区別を非常に難しがる⑥。A・ロージニスの『初心者のための会話日本語』では，日本語の文例をあげるたびに，一々（A）（B）（C）という注記をつけている。なんの等級かと思ったら⑦，普通体の文か，丁

寧体の文か，最上丁寧体の文かを示しわけているのだった。日本人ならひと目見ればわかるものを，外国人はそう行かないものらしい⑧。

この三つの文体の根本的なちがいは，フランクリー氏の言う「ある」「あります」「ございます」で代表される。が，ちがいはそれでは尽きない。ナサイ・クダサイなどは，下にデス・マスはついていないが，明らかに，デス・マス体にのみ用いられる。普通体に用いられず，ゴザイマス体にも用いられない。ナサイマセ・クダサイマセというと⑨，今度はゴザイマス体の言いかたになる。ゴザル・存ジル・参ル・申スというような動詞はいずれも下にマスがついてはじめて使われる。名詞の中では，昨日・明日・コノタビの類が，副詞の中ではイカガが普通体には用いられない。この区別は，さらに感動詞にまで反映し，オイ・ウンはだいたい普通体に相当し，ネー・エーはだいたい丁寧体に相当し，モシモシ，ハイはだいたい特別丁寧体に相当する。

したがってこの三つの文体のちがいは，われわれが考えているよりはるかに大きい。A・W・グロータース神父は，日本では若い人が友人に話しているときと，その友人の父親に話しているときでは⑩，まったく別の二か国語を使い分けているような感じを受けると言っている。

普通体・丁寧体の区別は，元来話しかけられる相手に

対する敬意の度合いに応じることばの使い分けである。そうして，それは，また相手が親しい間柄かどうか⑪のちがいにも応じ，さらに，それが改まった席での会話かどうかのちがいに応じるものでもある。

もし単に〈話し相手に対する敬意の使い分け〉にすぎないならば⑫，ヨーロッパ語にもないわけではない⑬。ドイツ語で，相手をさす場合に du (お前)と Sie (あなた) とあるようなものである。

日本語の普通体と丁寧体の別は，それと少しちがう。むこうのは⑭，相手や相手の動作に関する言葉の形だけを変えるのであって，ひろく話されることがら全体を変えるのではない。ドイツ語では，たとえば「花が咲いた」とか「雨が降って来た」とかいうことばは，どんな尊敬すべき人に対する場合でもちがった表現のしようがない⑮。つまり，むこうのは，文体のちがいではなくて，文法学者のいう〈敬譲の変化〉である。日本語のは，普通体の「花が咲く」に対して「花が咲きます」「雨が降りだしました」という丁寧体があるので，これはまったく次元のちがったものである。

この種の文体の区別は，日本語以外に朝鮮語に似たものがあって，日本語との類似を思わせる。また，宮武正道⑯氏によると，ジャワ語⑰にもこのような文体の別が見られると言い，イェスペルセン⑱によると，同様の文体の別がビルマ語にあるらしい。しかし，ヨーロッパ

語には大体なく，東洋の言語でも中国語その他にはない。

日本語にあるこの区別は，日本人の言語生活に煩雑さをもたらしている。バスの車掌は，アメリカでは，簡単に“Chicago Station, next.”⑲と言えばいい。が，日本語で，

名古屋駅前，次。

とやったのでは片言だ⑳。

次は名古屋駅前でございます。

とやらなければならない。こんなに長く言うために，とかく，かんじんな「名古屋駅前」という地名のひびきがぼんやりしてしまったりする。

ドアに書く文字でも，英語ならば“push”ですむが，日本語では「押せ」とは書きにくい。

といって㉑，それならば，日本では，いつでも丁寧体を使えばいいかというと，そうでもない。呼ばれて電話口に出て，丁寧体で応対してみると，女房だったり親友だったりした場合，ちょっと間の悪い思いをする㉒。この使い分けはややこしい。

金田一春彦「日本語」（岩波新書）から。

きんだいち　はるひこ（1913年～　　）上智大学教授。国語学。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com